GUNMA INNOVATION AWARD 2018

あらい・まさあき

1965年、旧藪塚本町

社、ラーメン店の店長、 ャリア官僚から大手商

り、笑顔をつなぐ」を

設立した。首都圏を中心に事業拡大。201を経て97年に不動産業のオープンハウスを(現太田市)生まれ。都内の不動産会社勤務

3年に東証1部に上場した

ンターが見回るので

う若者は多いと思って 物を着てみたい」とい

している。

「自分にとっ

着物の利用価値を模索

なっている膨大な数の

警備業のノウ

いる。

従来のように山に仕

比べて激減している。

た

たんすの肥や

だが、その中でも「着

市場規模はピーク時に

ナルステージで発表.

る。

分が厳選した全国の花

く、注文を受けると自

店の商品と考えてい

など料理以外の価値も

中川原

呉服業界も



### 新ビジネス

り、現在に至る。年1回開催する創業祭展示経て、1905年創業の中川原呉服店に入生まれ。大学卒業後、茨城県の呉服店勤務をなかがわら・かつひろ 1972年、前橋市

び、帰国後に花き農家などを経験。2005まれ。米国、オランダに留学して花作りを学こばやし・しんいち 1972年、前橋市生

ットワークで花を届けている年に生花店開業。独自に構築した生花店ネ

などの際に自動的に花知り合いの企業の上場データを集め、例えば

珍しかったであろう創

しい。警備会社がまだ

ノベーションスクー年後、GIS(群馬イ

業時の精神に立ち返

ル)の1期生として学

んだことが原点であ

もう一度、時代を

ータを集め、例えば

は5年後、10年後は厳

その意味で起業して半

張る精神につながったが、諦めない心と踏ん

と思っている。

トワークで花を届けている

を提案し、贈り忘れが ないようにするシステムの構築も進めてい る。米国での情報発信 る。米国での情報発信

したい。

と感じている。

り、忘れてはいけない

3回目でようやくファ

に1回目から応募し、

小林 自分もGI

宮崎

経営者として

中川原 同じく3期

なぜ通らないのか毎日

イナリストになれた。

切り開いていく会社に

分に増やしたい。過ごす時間を年間の半

細かくイノベーション

ストを目指し、本当に た。GIAファイナリ 生としてGISに入っ

燃え尽きるくらいまで

う。<br />
そ今の自分があると思

た時間があったからこ 考え、自分と向き合っ

採用活動まで日々

に取り組むのが自分の

商品から店のインテリ

業界の中で従来通りで 深沢変化していく

仕事だと思っている。

やらせてもらった経験

鳥獣対策を各地で

々細かく改革を宮崎

販売会「年輪祭」は29回を数える

## 手助けできる店に 中川原

ピ

ッ

デ

タ活用小林

来年、前橋市内に3店

目をオープンさせたい

警備業を主体

効率化を図った。群馬 を皮切りに埼玉や新潟 が作動すると知らせる など各地に広げてい センサーを取り入れ、 ウを生かしてわな 相談相手になり、手助 う。 創業113年の老 できる店がないとい たい若者の5割は相談 舗としてそういう人の ある調査で着物を着 は人を幸せにするこて一番ぜいたくな幸せ と」だと思い、 起業した。インテリア タリアンレストランを ネス」を経営理念にイ

「ハピ

と思っている。

を経営している。ただ、

前橋で生花店

皆さんが想像するよう

な「街の花屋」ではな

高齢化でハンター

シカやイノシ

る。

けができる店づくりを したい。GIAファイ

新しいビジネスモ

いしいものを楽しんでにこだわりの空間でお る店」がコンセプトだ。 いただく「五感で感じ 3世代をターゲット

最適な花を配達するサ 途に合った店を選び 屋180店の中から用 -ビスをしている。 現在は顧客のビッグ

ン「ピッツェリア・ペスカ」をオープン。前橋リア料理を学ぶ。13年にイタリアレストラまれ。2001年に群馬県に移り住み、イタみやざき・ゆういち 1972年、熊本市生 市で2店舗を展開する

にも進出している お派遣を手掛けるほか、鳥獣被害対策事業材派遣を手掛けるほか、鳥獣被害対策事業 とまれ。大学卒業後、2005年にシムック ふかさわ・としひろ



深沢 座談会の5回目(最終回)は21日に掲載予定

**GUNMA** INNOVATION AWARD 2018



### トナートッ ブ 群馬イノベーションアワー

荒井正昭社長 オープンハウス グルメフレッシュ・フーズ

松本 健社長 芝崎勝治社長 群成舎 深沢利弘社長 シムックス 中川原呉服店 花助 一社長 宫崎雄一社長 HAWORD ひかり税理士法人 高橋正光代表社員

年で急成長できたのはが目標だ。起業して21 お金をかけてきた。キ だと思う。ただ、人材 不動産業界だからこそ にはこだわり、採用に 億円を超えること 今期は売上高

## オープンハウス

の荒井正昭社長ら 8人が「わが社の

をテーマに、人材確保や新ビ イノベーション」 ジネス開拓などについて意見を交わした。

# 共通の価値観重要売井

恐らく人気のある業界

すれば集められるかと は集まっている。どう いうことだと思う。 「自然をまも

松本

「人が大事」伝

える芝崎

人材確保

# 1 9 7 1年、前橋市生ま

し、「安心とおいしさをまごころこめて」を理ーズを設立、社長に就任。食品製造業を展開れ。大学卒業後、98年にグルメフレッシュ・フ 念に、食の安全の高度化に取り組んでいる まつもと・たけし

理、ビルマネジメント業を展開物処理、リサイクル、水処理プラ然をまもり、笑顔をつなぐ」を理然をまもり、笑顔をつなぐ」を理がのでは、80年に群成舎入社。95年かられ。95年のよりにはさき・かつじ 1958年、 水処理プラント技術管 95年から現職。 8年、 を理念に、廃棄 高崎市生ま 自

採用することが大切だ の価値観がある人間を と思っている。 力を入れてきた。共通 い気持ちで頑張りたい へは集合」 というカラ を打ち出して採用に

お

利用できるカフェを造 の1階に社員が休憩や め しゃべりなど自由に 4階建ての事務所

を置いてやっていきた 企業としてそこに重点 価値が新たに発生す る。教育や待遇を含め、 最大化することで付加 り組むべきことはある 従業員一人の力を

分かっていた。だが、 持つ人材がいる。 美容師と幅広い経歴を になることは以前から 人口の減少で人材不足 少子化に伴う労働力 を建設している。 完成を目指して新本社 えた。来年1月ごろの の環境保全事業に取り 八は集まってくれる。 3K的な面がある仕 -人の力を最大化

掲げて廃棄物処理など 創業62年目を迎 おかげさまで てくれる。 持ちが伝わると定着し

教育を通じて「大事に ざまで、別の会社で挫 な教育だ。学歴はさま する」という会社の気 折や紆余曲折を経てき 礎的な部分からの丁寧 た人も多い。 こうした

力を入れているのは基

松本 豚味付けホル を手掛け、創業から20

増やす」という会社の 生の存在は大きい。 からの外国人技能実習 を中心に人手不足は厳 年を迎えた。製造現場 しく、中国やベトナム 「食を通じて笑顔を ら給料を上げるとい

理念を実現するには日理念を実現するには日ればならない。例えばればならない。例えばればならない。例えばればならない。例えばればならない。例えばればならない。例えばればならない。例えばればならない。 テストを行い、合格し プを兼ねて自作の業務

国にアウトソーシング る実験を始めている。 そこで定型業務を中 (人工知能)を活用す

減らし、有給休暇を取生産性を高めて残業を てもらえる事務所にし れるようにして長くい ようと努力している。 したり、ロボットやA することで新たなチャ

がる。 1) える部分は大切にした ţ イノベーションにつな 待遇は無理だとして レンジをしてくれて、 高橋 大企業のような 小企業なりに補 その意味も込

の中ではあるが、

べて。

働き方改革の世

結局は人がす

る。 がお手本だ。年内完成日本本社で見たカフェ 予定でワクワクしてい 松本 いろいろと取

った工夫をしている。

とが重要となる。 連学部などを卒業した 理専門学校、大学の関 を持って商業高校や経 はれる事務所になるこ がしたい」という目標 人が集まってくれるの あとは応募先に選

所の業界は「この仕事 税理士事務

採用面に関し

選ばれる事務所に

人材を大切に っている。グーグルの 高橋

たかはし・まさみつ 1955年、高崎市生事務所を承継。高崎を中心に東京、さいたま務所開業。9年、父親の死去に伴い高崎市のまれ。大学卒業後、85年に東京都で税理士事まれ。大学卒業後、85年に東京都で税理士事

最終プレゼンテーション ビジネスプラン部門・高校生の部/大学生・専門学校生の部/一般の部/ スタートアップ部門/イノベーション部門 過去最多のエントリー総数402件の中から、1次・2次審査を通過した各部

門・部の15組が最終プレゼン審査に臨みます。斬新なビジネスプラン、事業



■特別講演 ニトリホールディングス会長兼CEO 似鳥昭雄氏

「リーダーが育つ55の智慧」

群馬イノベーションマーケット 12:00~17:30

タイムテーブル

12:00 開 14:00 開 場 幕 ファイナリスト15組の最終 プレゼン

似鳥会長の特別講演 「リーダーが育つ55の智慧」 17:05 表彰式 17:30 終了

GIA事務局[上毛新聞社事業局] 027-254-9955

※平日9:00~17:20